

第3 令和2年度東郷町特別会計当初予算の概要

1 国民健康保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 少子高齢化の進展等により、被保険者が年々減少している局面を迎えています
が、国民健康保険制度を、将来にわたり安定的で、持続可能な社会保障制度として
構築していくため、国民健康保険税率を見直し、適正かつ円滑な事業運営を図るこ
とを主眼に策定しました。

イ 国民健康保険の加入者は、一般被保険者数7,526人、介護保険第2号被保険
者数は、2,275人と推計しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険特別会計の予算規模は33億2,945万4千円であり、令和元年度
当初予算に比べて1億8,871万9千円、率にして5.4%の減となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 国民健康保険税	782,564	23.5	776,048	22.1	6,516	0.8
2 国庫支出金	2,367	0.1	0	0.0	2,367	皆増
3 県支出金	2,221,474	66.7	2,413,299	68.6	▲ 191,825	▲ 7.9
4 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 繰入金	313,940	9.4	317,817	9.0	▲ 3,877	▲ 1.2
6 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 諸収入	9,107	0.3	11,007	0.3	▲ 1,900	▲ 17.3
合 計	3,329,454	100.0	3,518,173	100.0	▲ 188,719	▲ 5.4

※ ▲は、減を示しています。

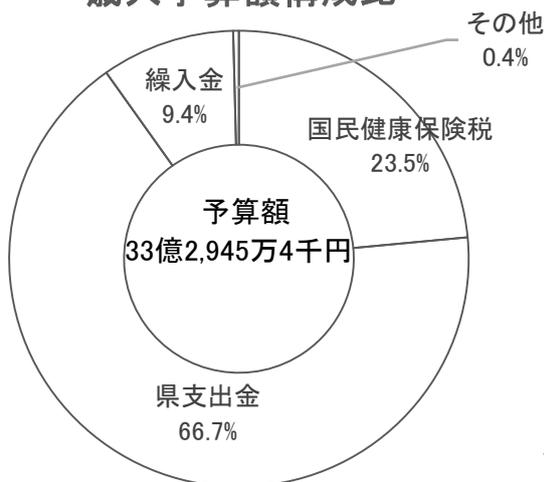
歳出の部

(単位：千円、%)

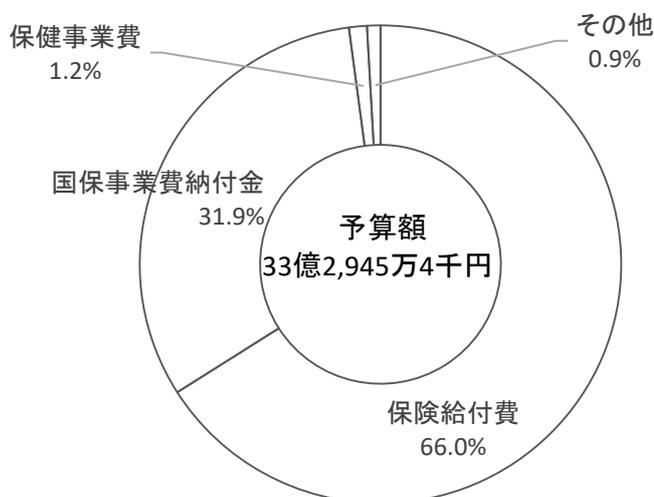
科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	23,632	0.7	21,161	0.6	2,471	11.7
2 保険給付費	2,196,685	66.0	2,390,233	68.0	▲ 193,548	▲ 8.1
3 国民健康保険事業費納付金	1,062,571	31.9	1,056,602	30.0	5,969	0.6
4 保健事業費	39,003	1.2	41,482	1.2	▲ 2,479	▲ 6.0
5 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 諸支出金	3,562	0.1	3,563	0.1	▲ 1	0.0
7 予備費	4,000	0.1	5,000	0.1	▲ 1,000	▲ 20.0
共同事業拠出金	0	0.0	131	0.0	▲ 131	皆減
合 計	3,329,454	100.0	3,518,173	100.0	▲ 188,719	▲ 5.4

※ ▲は、減を示しています。

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

<歳入>

- ・国民健康保険税
保険税率の見直し等により6,516千円の増額
- ・国庫支出金
システム開発費等補助金の皆増により2,367千円の増額
- ・県支出金
被保険者の減少に伴う保険給付費等交付金の減少等により191,825千円の減額
- ・繰入金
一般会計繰入金の減額等により3,877千円の減額
- ・諸収入
延滞金の減収等により1,900千円の減額

<歳出>

- ・総務費
保険証の一斉更新やシステム改修に係る委託料の増加により2,471千円の増額
- ・保険給付費
被保険者の減少により193,548千円の減額
- ・保健事業費
特定健康診査等事業費の減額等により2,479千円の減額

2 国民健康保険東郷診療所特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

安全できめ細やかな医療サービスを提供するとともに、施設及び医療機器の適正な維持管理を図り、東郷診療所の健全な経営のための経費削減を実施し、誰もが安心して医療が受けられる診療所を目指すことを主眼に策定しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険東郷診療所特別会計の予算規模は、1億2,917万2千円であり、令和元年度当初予算に比べて500万8千円、率にして3.7%の減となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 診療収入	123,498	95.6	127,926	95.3	▲ 4,428	▲ 3.5
2 使用料及び手数料	839	0.6	890	0.7	▲ 51	▲ 5.7
3 財産収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
4 繰入金	4,201	3.3	4,846	3.6	▲ 645	▲ 13.3
5 繰越金	500	0.4	500	0.4	0	0.0
6 諸収入	132	0.1	16	0.0	116	725.0
合 計	129,172	100.0	134,180	100.0	▲ 5,008	▲ 3.7

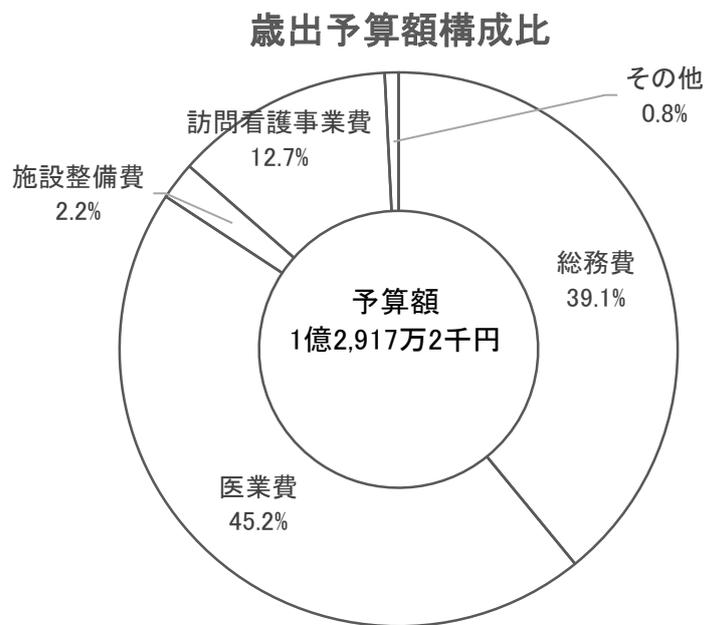
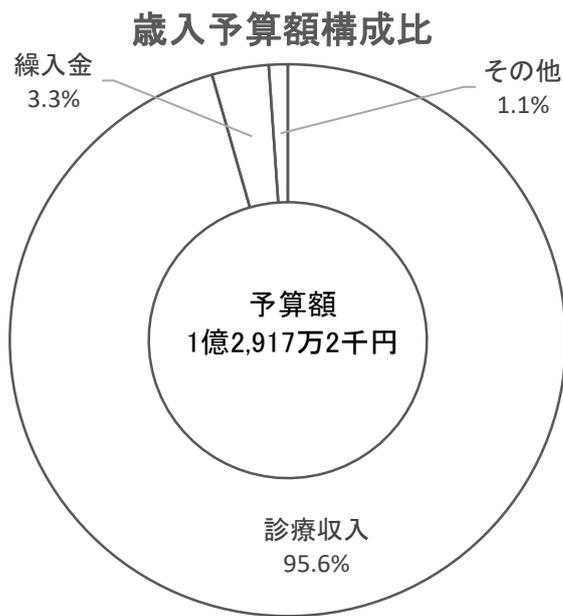
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部

(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	50,479	39.1	54,603	40.7	▲ 4,124	▲ 7.6
2 医業費	58,338	45.2	58,247	43.4	91	0.2
3 施設整備費	2,896	2.2	4,068	3.0	▲ 1,172	▲ 28.8
4 訪問看護事業費	16,458	12.7	16,261	12.1	197	1.2
5 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 予備費	1,000	0.8	1,000	0.8	0	0.0
合 計	129,172	100.0	134,180	100.0	▲ 5,008	▲ 3.7

※ ▲は、減を示しています。



○増減額の主な理由

<歳入>

- ・診療収入
外来患者の減少等により4,428千円の減額
- ・繰入金
財政調整基金繰入金の減少等により645千円の減額

<歳出>

- ・総務費
職員給与の減少等により4,124千円の減額
- ・施設整備費
施設長寿命化調査の完了等により1,172千円の減額

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

75歳以上の高齢者における健康の保持と、適切な医療の確保を目的とし、保険料及び繰入金を財源として、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることを主眼に策定しました。

なお、医療給付費事業については、愛知県後期高齢者医療広域連合により実施されるものです。

(2) 予算の概要

後期高齢者医療特別会計の予算規模は5億9,575万1千円であり、令和元年度当初予算に比べて5,840万8千円、率にして10.9%の増となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

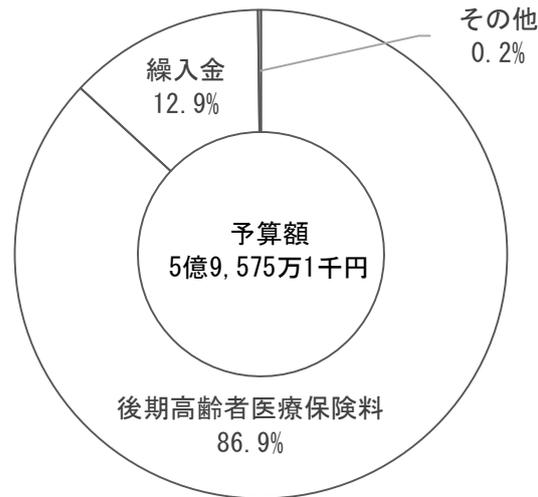
科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	517,699	86.9	467,760	87.0	49,939	10.7
2 繰入金	77,046	12.9	68,577	12.8	8,469	12.3
3 諸収入	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 繰越金	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	595,751	100.0	537,343	100.0	58,408	10.9

歳出の部

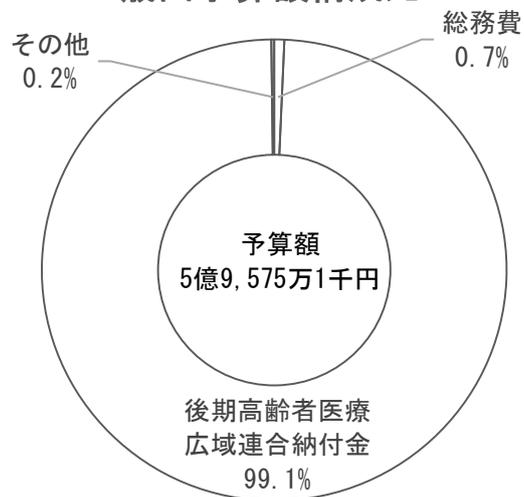
(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	4,059	0.7	4,051	0.7	8	0.2
2 後期高齢者医療 広域連合納付金	590,686	99.1	532,286	99.1	58,400	11.0
3 諸支出金	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 予備費	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	595,751	100.0	537,343	100.0	58,408	10.9

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

<歳入>

- ・後期高齢者医療保険料
保険料率改定及び被保険者の増加により49,939千円の増額
- ・繰入金
被保険者の増加により8,469千円の増額

<歳出>

- ・後期高齢者医療広域連合納付金
保険料率改定及び被保険者の増加により58,400千円の増額

4 介護保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 第7期高齢者福祉計画の最終年度に当たり、進捗状況を確認し、次期計画の策定に向けた3年間の実績評価を行うとともに、介護保険料、国・県支出金、繰入金等を財源として、介護保険事業の円滑な運営を図り、地域包括ケアシステムを推進するために、一般介護予防事業を充実し、地域全体で高齢者を支える社会の実現を目指すことを主眼に策定しました。

イ 介護保険の第1号被保険者は、年間平均被保険者数を9,842人、そのうち年間平均認定者数を1,611人と推計しました。

(2) 予算の概要

介護保険特別会計の予算規模は26億2,426万1千円であり、令和元年度当初予算に比べて1億8,591万3千円、率にして7.6%の増となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 保険料	614,164	23.4	608,417	24.9	5,747	0.9
2 国庫支出金	494,490	18.8	454,890	18.7	39,600	8.7
3 支払基金交付金	669,804	25.5	623,108	25.5	46,696	7.5
4 県支出金	367,827	14.0	343,663	14.1	24,164	7.0
5 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰入金	477,618	18.2	407,911	16.7	69,707	17.1
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 諸収入	356	0.1	357	0.1	▲ 1	▲ 0.3
合 計	2,624,261	100.0	2,438,348	100.0	185,913	7.6

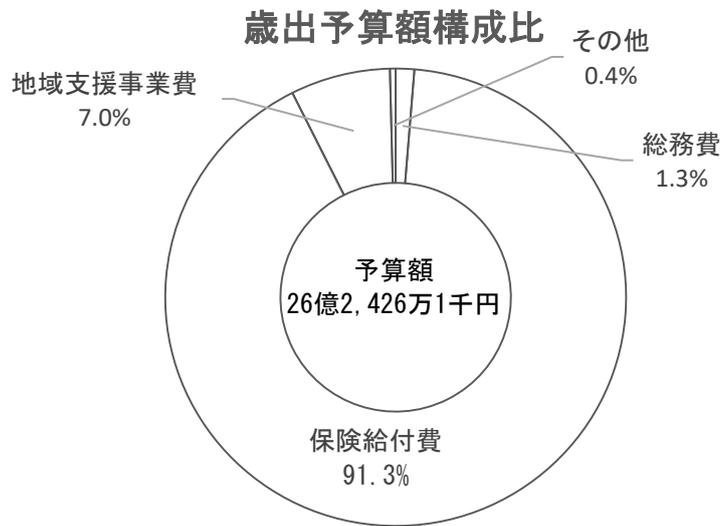
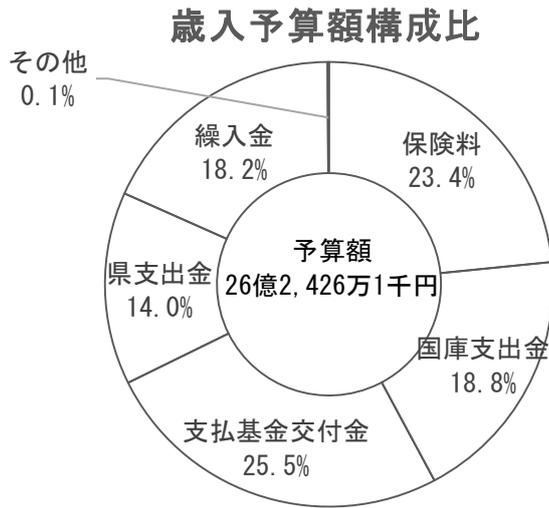
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部

(単位：千円、%)

科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	35,438	1.3	35,991	1.5	▲ 553	▲ 1.5
2 保険給付費	2,395,889	91.3	2,214,752	90.8	181,137	8.2
3 財政安定化基金拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 地域支援事業費	182,568	7.0	177,299	7.3	5,269	3.0
6 諸支出金	364	0.0	304	0.0	60	19.7
7 予備費	10,000	0.4	10,000	0.4	0	0.0
合 計	2,624,261	100.0	2,438,348	100.0	185,913	7.6

※ ▲は、減を示しています。



○増減額の主な理由

<歳入>

- ・国庫支出金
介護給付費負担金及び保険者機能強化推進交付金の増額等により39,600千円の増額
- ・支払基金交付金
介護給付費交付金の増額等により46,696千円の増額
- ・県支出金
介護給付費負担金の増額等により24,164千円の増額
- ・繰入金
一般会計繰入金等の増額により69,707千円の増額

<歳出>

- ・保険給付費
介護給付サービスの利用増等により181,137千円の増額
- ・地域支援事業費
一般介護予防事業の充実により5,269千円の増額